



先生～っ！それ、私たちがやりたい！



先生方が行う授業が、更なる「学習者主体の授業」となるよう、以下のポイントを参考に、児童生徒に思い切って委ねることを増やしてみませんか。

児童生徒の思いと先生の発話（例）

期待される効果

留意点

導入（授業開始10分が目安）



やる気が出たり、学び始めたくなくなったりするようなきっかけがほしい。

- ・ 前の時間の学習と比べて、違うところはどこかな？（具体物等を提示して）何か気付いたことはあるかな？どのようなことを調べてみたいかな？
- ・ （失敗例等から）なぜ、うまくいかないのかな？



今日の授業のめあてとそれを達成するための計画や方法を自分たちで考えたい。

- ・ この前の授業では、どんなことが分かったかな、そして、今日は、どんなめあてを立てたいかな？
- ・ めあてを達成するために、これまでの学習や経験から、どのような予想ができるかな？また、どのような手順で、誰と、どのように取り組みたいかな？
- ・ 今日の学習の終わりにどのようなことができるようになっていきたいかな？



友達と話し合ったり、活動したりする中で考えを広げたり、深めたりしたい。

- ・ ○○さんの考えに付け加えることができますか？また、異なる考えはありますか？
- ・ 隣の友達がどのように考えているか、互いの考えを共有して、更に深く考えてみましょう。



自分で気付いたり、友達と確認したりしながら大事なことを身に付けたい。

- ・ 教科書やノート等の大事だと思うところに印を付けましょう。また、印を付けた理由も考えましょう。
- ・ 自分が印を付けた所を友達と比べてみましょう。
- ・ 用語の意味を、教科書等を活用しながら、まとめて友達に紹介しましょう。



自分で、又は友達と協力して、この時間のまとめを書きたい。

- ・ 今日学んだことを、○○と△△という言葉を使いながら、自分でまとめましょう。
- ・ 今日のめあてに対して、どのようなことが分かったかを自分の言葉で表現しましょう。



今後につながるアイデアやよりよい学び方について考える時間がほしい。

- ・ できるようになったことや解決できなかったこととその理由を考えてみましょう。
- ・ もっと知りたいこと、今後役立てたい学び方について、考えてみましょう。
- ・ 今日の学びが、これからの学習にどのように生かしていけるかを考えてみましょう。



終末（授業終了前10分が目安）

- ・ 学習意欲が高まる。
- ・ 本時（単元）の学習の意義に気付きやすくなる。
- ・ 知的な好奇心がかき立てられる。

- ・ 扱う内容や活動は、児童生徒の実態を踏まえる。
- ・ 前時までの学習内容との違いに気付けるようにする。

- ・ 学びに対する当事者意識や学びを展開する主体性が生まれる。
- ・ 目標達成に向けた計画性を育むことができる。
- ・ 自己決定・自己選択することで、内発的動機付けが高まる。

- ・ めあての表現は、児童生徒の言葉を生かしながら、必要に応じて対話を通して設定する。
- ・ 学習の内容や方法を確認することで、安心して学習に臨めるようにする。

- ・ 他者の考えとの比較、検討により、自分の考えを一層広げたり深めたりできる。
- ・ どのような視点で物事を捉え、どのような考え方で思考していくのかという見方・考え方を広げることができる。

- ・ 自分の考えの根拠や理由を明確にして対話する場を設定する。
- ・ 個々の考えを広げ深めるために、話し合う過程を大切にします。

- ・ 自ら情報を整理することで、学習内容が定着しやすくなる。
- ・ やり取りを通して、お互いの理解の誤りや不足、大事な所に気付けるようになる。

- ・ 子供たちの言葉を引き出したり、つないだりしながら、知識の理解の質を高める。
- ・ 確実な定着に向けて、短時間で反復する機会を取り入れる。

- ・ 学習内容の意義や既習事項とのつながりを意識できるようになる。
- ・ 主体的な学びが更に深まり、「知識の受け手」から「学びの創り手」へと変わっていくことができる。

- ・ 学習内容の理解を深めるために、自分の言葉で論理的に表現できるようにする。
- ・ 友達とまとめを交流する時間も設ける。

- ・ メタ認知を高め、自己調整力を育むことができる。
- ・ 自分に合う学び方を見付けることができる。
- ・ 家庭学習マイゴールチャレンジや次時の学習につなげることができる。

- ・ 学んだこと、友達との関わり等の視点を提示する。
- ・ 振り返りを共有して、自己肯定感を育み、新たな気付きにつなぐ。

各学習過程において、児童生徒の実態に応じた効果的なICT活用を検討してください。